

ふきのと

2024
夏号
No.051



夏来たる（土田牧場） 撮影：伊藤誠司

令和6年度市立秋田総合病院病院祭 開催のお知らせ

日時 令和6年10月12日(土) 9:00~12:30

医師による健康講座等、さまざまな企画を準備しております。

熱中症・脱水症対策について

救急科 科長 長谷川 傑



筆者が学童期のころ（1980年代…もう40年以上前です 笑）、炎天下の屋外行事の際に「熱射病に気をつけましょう」と注意喚起されたものです。かといって倒れる人がそれ程いたかと言われると記憶がありません。現在のよう熱中症での搬送がニュースになっていなかったように思います。それでは人間は弱くなったのでしょうか…。実は、熱中症での救急搬送件数は1990年代半ばから急速に増加しました。東京における30℃を超える延べ時間は1980年代初期と2000年以降では圧倒的に後者の方が増加しました。これはエアコンの増加、通行車両の増加、緑地の減少といった環境要因からヒートアイランド現象に拍車がかかったためといわれています。気候の変化、温暖化も影響しており、北東北においても暑熱環境は年々悪化しています。

熱中症の発生パターンとして、労作性熱中症と非労作性熱中症の観点からお話しようと思います。日本救急医学会Heatstroke studyによりますと、労作性とは主に屋外（最近は屋内でも）スポーツや屋外労働で発生する熱中症で、暑い中で身体を動かしていることで生じる熱中症です。急激に発生することが多い反面、治療にも反応しやすい特徴があります。スポーツ中の10代の学生層、肉体労働中の壮年層に多い傾向があります。非労作性熱中症は70～80代の高齢者が屋内で発生するケースが多く、高齢になるほど女性に多く、かなりダメージが深刻化してから受診することから治療に対する反応性が悪い傾向があります。認知機能の低下と言えば記憶や身体能力を思い浮かべる方が多いと思いますが、暑い・寒いといった環境に対する認知機能も低下します。暑い日なのに暖房を付

けていた、肌着からインナーから5枚も6枚も着衣を付けて、汗だくで搬送されてきた…などというケースは少なくありません。

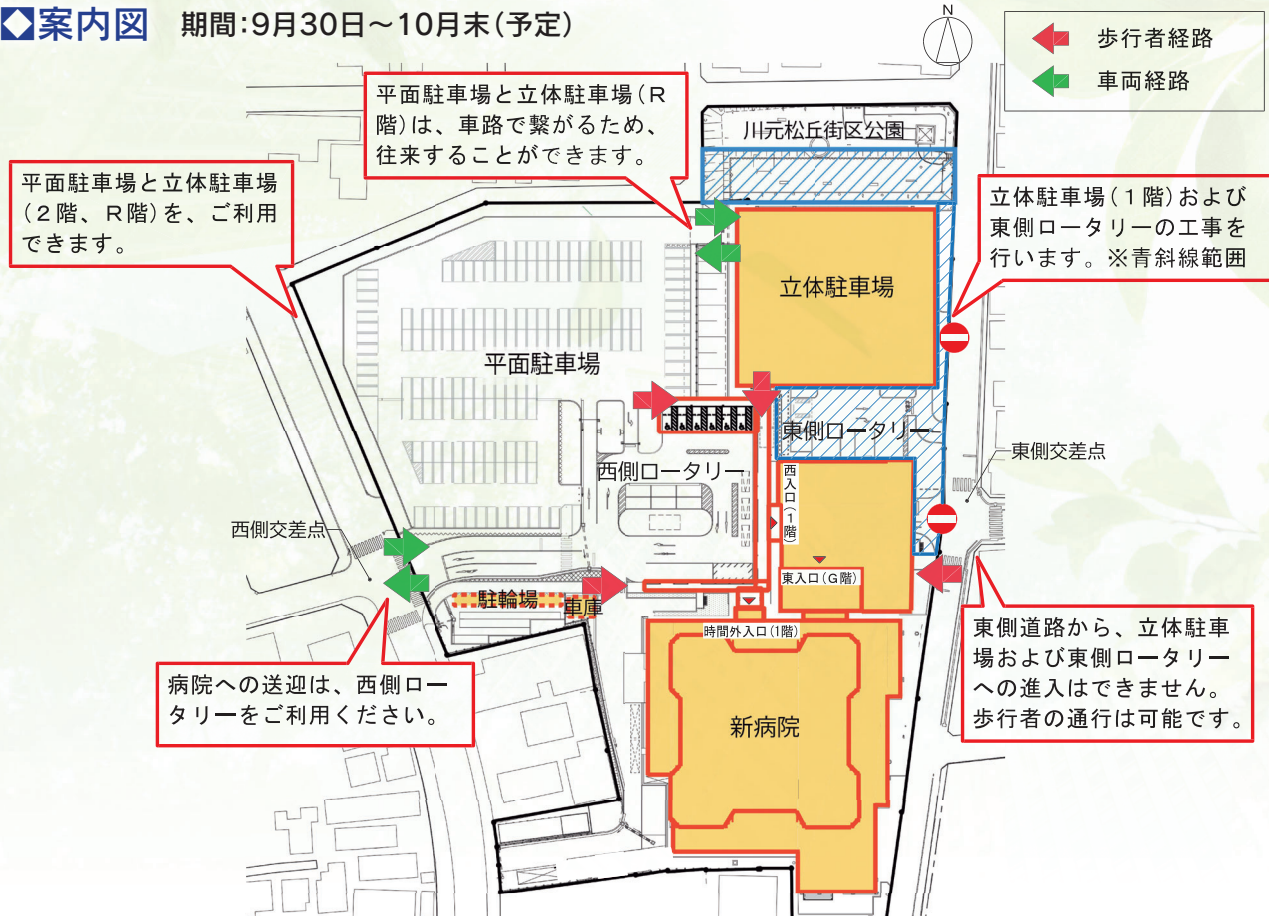
暑い季節の熱中症・脱水症対策として気をつけなくてはいけない事として水分摂取は勿論ですが、汗とともに失われた電解質（塩分）の補給も忘れてはいけません。そのためにスポーツドリンクや経口補水液などが便利ですが、スポーツドリンクは糖分が非常に高く、経口補水液はナトリウム濃度が相対的に高いため、どちらも一長一短があります。糖尿病の方や高血圧でナトリウム制限を指導されている方などは注意が必要です。かかりつけの先生に相談することをお勧めします。家族に高齢者がいる方は、適切なエアコンの利用、着衣の調整、水分摂取をしやすい環境などに配慮して頂ければよいと思います。年々夏の暑さは厳しさを増しています。自分は大丈夫と過信せずに予防対策をしっかりと心がけて夏を楽しく乗り切りたいですね。



屋外環境整備等工事に伴う通行ルート変更のお知らせ

西側ロータリーと平面駐車場の完成に伴い、9月30日(月)から通行ルートが変更となります。東側道路から敷地内に入れませんので、病院への送迎と駐車は、西側道路から出入りしてください。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆案内図 期間:9月30日~10月末(予定)



「ナビダイヤル」の導入について

電話の混雑解消および利用者の利便性向上のため、「ナビダイヤル」を導入します。「ナビダイヤル」とは、音声ガイダンスに従って操作していくことで、担当部署へのご案内するサービスです。担当部署につながるまでは電話料金は発生しません。

電話番号が変更となり、0570から始まりますので、お掛け間違いないようにご注意ください。ナビダイヤル導入日および新電話番号は以下のとおり。

ナビダイヤル導入日

令和6年10月1日(火)

電話番号

0570-01-4171

新看護部長あいさつ



看護部長
石川 千夏

2024年4月1日付けで前任の庄子看護部長から引き継ぎ、看護部長を拝命いたしました石川千夏（いしかわ ちか）と申します。

当院の理念は、「すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます」です。地域の皆様から信頼される病院づくりを目指し、職員一同取り組んでおります。2022年10月に移転しました新病院では安全、安楽な療養環境作りにも力をいれております。その1つに、病棟に設置された分散型看護拠点があります。これは患者さんをより近くで見守ることを目的として病室の近くに設置されたミニナースステーションであり、1病棟に3～4カ所あります。患者さんをより近くで見守ることで患者さんの変化や動きにいち早く気づくことができ、安全な入院生活を送っていただけたと考えております。

看護部には456名の職員がおります。病気や怪我と向き合う患者さん、ご家族に寄り添い、質の高いケアが提供できるよう努めております。また今はチーム医療が推進されています。看護師がチーム医療の中で看護の専門性を発揮できるよう人材育成にも努めて参りたいと思います。

令和6年度新規採用職員紹介

令和6年度は、医師10名、研修医6名、看護師14名、理学療法士1名、臨床検査技師1名、事務職員1名の計33名が当院のスタッフとして新たにスタートを切りました。
すべては患者さんの笑顔のために頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



鎌田 頌平

看護部

今年度から7階消化器外科病棟に配属となりました鎌田頌平です。

看護師として働き始めて2ヶ月が経ち、どのように患者さんをアセスメントしていくのか、必要な看護技術が何なのかを日々先輩方にご指導していただいております。患者さんのニーズを把握し、常に自分に何ができるかを考えて行動していきたいと思ひます。

休日にはNBA鑑賞や料理をして気分転換をしています。
早く独り立ちできるように頑張ります。



前澤 透馬

リハビリテーション科

今年度から理学療法士として採用になりました、前澤透馬と申します。

働き始めたばかりで、まだまだ不慣れな点もございますが、先輩方からご指導いただきながら日々精進しています。患者さんのリハビリテーションを患者さんそれぞれに合わせてサポートしていけるように、様々な方との会話を大切にしながら、責任感を持って仕事に臨みたいと思っております。宜しくお願ひいたします。



佐川 萌乙

臨床検査科

今年度より臨床検査科に配属となりました、佐川萌乙と申します。

今は、先輩方からご指導いただき、多くの検体に触れ様々な経験と学びを得ております。一日でも早く皆様に寄り添ったより良い医療の提供のため、また皆様の健康と笑顔に少しでも貢献できるよう、研鑽を積み、全力を尽くしております。
まだまだ未熟で若輩者ではありますが、責任を持って仕事に臨み、誠心誠意努力して参ります。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診を実施しています。

当院では「秋田市の乳がん・子宮頸がん検診」を実施していますが、お仕事などで日中の受付時間に来院できない方のために、夕方5時から「夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診」も実施しています。大切なあなたの健康のために、お仕事帰りにお気軽にご利用ください。

対象	秋田市の乳がん・子宮頸がん検診対象者の方 ※詳しくは、当院のホームページをご覧ください。
実施期間	7月～2月の毎月2回（第1・第3水曜日） 7/3、7/17、8/7、8/21、9/4、9/18、10/2、10/16、11/6、11/20、 12/4、12/18、1/15、2/5、2/19
受付時間	●乳がん検診 17:00～17:30 ●子宮頸がん検診 17:00～17:30
予約方法	検診希望日の前日までに電話で予約してください。（事前予約制） ●予約先 「健康管理センター」電話:018-827-5084 ナビダイヤル:0570-01-4171 ●時間 13:30～15:30（土・日・祝日を除く）

10月1日以降はこちらの
ナビダイヤルへおかけください。



登録医のご紹介

医療法人仁明会 城南さいとうクリニック

- 診療科目：呼吸器内科、消化器内科、内科、外科
- 資格：外科専門医、呼吸器外科専門医、認定内科医、
消化器病専門医、肝臓病専門医



齋藤芳太郎 先生



齋藤さとみ 先生



令和5年10月23日に秋田市仁井田に開院しました、城南さいとうクリニックと申します。当院は呼吸器科、消化器科

それぞれの専門医が常勤するクリニックです。

医師は二名とも秋田で初期研修を行い、その後県内各地の総合病院で医療に従事しながら専門医を取得して参りました。二名ともこれまでのがん患者さんの診療に携わってきた経験を経て、がんの早期発見治療が重要であるという意識を強く持ちました。そのため、当院では生活習慣病だけではなく、各種がんも診ることが出来る医院を目標としております。

当院では各種がんをより専門的に診療できるように、レントゲン、肺CT、胃カメラ、大腸CT、腹部超音波検査を行っております。腹部超音波検査では、必要に応じて造影剤を使用しより精密な検査を行います。

生活習慣病に関しては、採血、尿検査、心電図検査、血管年齢検査などを行って、高血圧、脂質異常

症、糖尿病の診断治療を行っています。

呼吸器関連では、肺気腫や喘息などの診断治療や、禁煙外来も行っております。また、睡眠時無呼吸症の診断治療や、在宅酸素治療のご相談も承ります。

消化器診療としては腹部症状やがんの検査に加え、肝炎ウイルスの診断治療、肝硬変や脂肪肝、膵炎の診断治療や、禁酒に関するご相談も承っております。他に、特定検診や各種がんの一次検診と二次検診、骨密度検査、各種ワクチン接種も行っておりますので、詳細についてはお電話などでお問い合わせください。

また院長は外科専門医でもあり、けがや、やけど、少し特殊なところですと手の多汗症などの対応も可能です。体調で困ったことがございましたらお気軽にご来院下さい。皆様の健康に寄与できるようにスタッフ一同頑張っておりますので、これからもよろしくお願いたします。



マイナ保険証をご利用ください

令和6年12月2日から現行の保険証は発行されなくなり、今後はマイナンバーカードへ健康保険証機能を一体化した『マイナ保険証』での受診が基本となりますので、お早めにマイナ保険証への登録及びご利用をお願いします。

マイナ保険証を使うメリット

①医療費を20円節約できます

従来の紙保険証よりも、皆さまの保険料で賄われている医療費を20円節約でき、自己負担も低くなります。

②より良い医療を受けることができます

過去のお薬情報や健康診断の結果を見られるようになるため、身体の状態や他の病気を推測して治療に役立てることや、お薬の飲み合わせや分量を調整してもらうこともできます。

③手続きなしで高額医療の限度額を超える支払いが免除されます

限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。

マイナ保険証の利用登録がまだの場合は

→当院の窓口でもご登録いただけます。

マイナンバーカードの
保険証利用の申込みは

医療機関・薬局の 受付でもOK!!

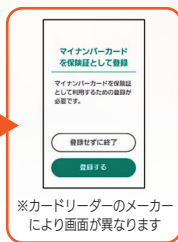
マイナンバーカードを医療機関・薬局にお持ちいただくだけで、健康保険証として利用するための申込み手続きや、実際に利用いただくことが可能です！



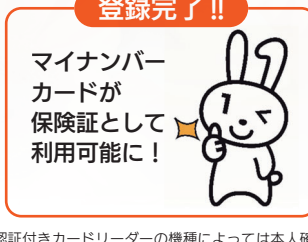
顔認証付きカードリーダーにマイナンバーカードを置く



保険証登録未実施の場合この画面へ



この画面からお申込み



※顔認証付きカードリーダーの機種によっては本人確認や同意取得の必要となるタイミングが、異なる場合があります。
※申込完了までに少々お時間をいただく場合がございます。
※転職・転居等により保険者が変わり手続が終了していない場合などには、マイナ保険証で受診いただけないことがあります。



お手数ですが、再度、同意取得画面の操作をお願いします

健康保険証利用の
申込みのお問合せ先



マイナンバー総合
フリーダイヤル

0120-95-0178

5番を選択のうえ、音声ガイダンスにしたがってお進みください。

マイナンバー

受付時間 (年末年始を除く)

平日:9時30分～20時00分
土日祝:9時30分～17時30分

出典：厚生労働省HPより

!まだマイナ保険証をお持ちでない方は、ぜひ、マイナンバーカードの取得、マイナンバーカードの健康保険証利用登録を行ってください。

市立秋田総合病院

理念

- 市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

基本方針

- 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
- 患者さんの権利や意思を十分に尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心してできる医療を行います。
- 職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
- 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。

編集・発行／市立秋田総合病院 令和6年7月26日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号

E-mail: ro-homn@akita-city-hospital.jp

https://www.akita-city-hospital.jp/

Tel (代表):018-823-4171 Fax:018-866-7026

10月1日以降は下記のナビダイヤルへおかけください。

ナビダイヤル:0570-01-4171